

# 平成 22 年度 第 2 回理事会議事録

平成 22 年 10 月 20 日(水) 19:15 ~ 23:45 於: 県士会事務所

出席者: 上遠野純子, 畑中一枝, 大貫操, 道又顕, 鈴木ひろみ, 鈴木真紀, 半沢正道, 久保田美代子,  
原田勝行, 監事佐藤善久 理事 9 名 (+ 委任状 2) 監事 1 名

## 【審議事項】

### 1) 上半期決算および補正予算の件

財務部長より, 各部からの補正予算希望額をそのまま合算すると単年度赤字が増える状況になるので, 調整が必要であることで報告された。それに対して, 年会費も 10,000 円となり今年度の最終的な決算が赤字になるのは避けていくことが必要だが, 活動内容が低迷しないことも必要との意見でまとまった。そのため, 年度途中で新規提案された事業には補正予算をつけても実施していくのかの優先度を検討することと, 各部・委員会には, 前年度の予算執行率を踏まえたうえで一度提出された補正予算のうち実際には支出が少なく収まりそうな部分がないかを見直してもらい, 見直し額を再度財務に提出し, その額をもって最終補正予算案としていくこととなった。また, 収入を確実にしていくため, 会費未納の県士会員への督促作業も進めていくことで確認された。

また, 今後の事業計画, 予算立案に関しては, 理事会だけではなく, 各部長や担当者が集まる場(部長会議など)も設けていくことも必要であろうとの意見も出され今後検討していくこととなった。

### 2) 訪問リハビリテーション研修企画について

9 月に東京で開催された訪問リハビリテーション振興会主催訪問リハビリテーション研修会に道又理事が参加し, その報告として平成 24 年に訪問リハビリテーションステーション制度化に向けて PT・OT・ST3 協会が協同で動いていくことと, 3 士会合同でセラピストを育成できるような研修会を, 今年度各都道府県各 80 名規模で開催して欲しいとの要請があったとの報告がされた。宮城県の振興会との窓口は道又理事が担当し, PT 士会の代表と 11 月に話し合いを持つ予定との報告がされた。

当士会でも委員会を設けるにあたり何人が候補となる OTR が報告され, その他委員の公募もかけていくことが報告された。また, 精神科領域の OT にも積極的に参加の声掛けをして欲しいとの意見も出された。

### 3) H23 年度県学会企画について

H23.5.22 に開催される定期総会時の県学会の素案が上遠野会長より提出され具体的なところ細かい時間などはもう少し検討していくとの報告がされた。引き続き報告審議していく。

### 4) OT 協会 H23 年度パオロット事業助成事業募集について

今年度は応募しないことで承認された。

### 5) OT 協会倫理窓口について

当県士会には倫理担当委員は存在しないため今後そのようなポストや委員会を設けていくのかどうか今後審議をしていくこととなった。現在全国の倫理問題相談窓口の県士会窓口としては福利部長半沢理事を登録してあるが, 情報を流す役割として継続担当してもらおうこととした。

### 6) H23 - H24 年度認定審査員推薦依頼関係

石巻市, 塩釜市, 仙台市より介護認定審査員, 障害者自立支援審査委員の推薦依頼が来ていることが報告された。現在の委員については継続意向を確認中であり新規希望者については 11 月の県士会ニュースへ委

員希望調査を掲載予定である。今後はこういった委員を実際に行っている人や引き受けた人へのフォローや集まりがあってもいいのではないかと意見が出され今後県士会に検討していくこととなった。

## 7)その他

### < 理事会承認事項 >

名義後援依頼「障害者就業セミナーみやぎ・せんだい2010」(主催:みやぎ・せんだい障がい者就労支援協議会): 常任理事会で確認後, 回答済み。 承認。

H23 年度協会表彰推薦について: 事務局で士会内規定を作成, 本人意向も確認し, 協会表彰として本地光弘氏(会員番号 1388)を推薦。 承認。

### 【各部からの活動報告・検討事項】

#### 会長

- ・名義後援をした認知症の方と家族の会の運営に関する委員会に畑中氏が代理出席。
- ・名取病院の独立行政法人化するにあたっての委員会に出席
- ・仙台医療センター地域医療研修センター専門委員会に参加し, 開催される研修内容は当会員にも有意義な内容であるため, その研修会の予定をタイムリーに会員に伝える方法について今後検討していくことが必要であるのではないかと報告された。

#### 事務局

・H21 年度法人県民税、法人市民税について

H21 年度は収益事業がなしで減免申請を行うことができるので, そのための手続きを財務部、法人化組織委員会と協働で対応中。合わせて H21 年度収支決算書(H21.4 ~ H22.3)も作成中。完成次第 HP へ掲載予定である。

#### 庶務部

- ・会員管理について協会システムが利用できるように会員番号のすりあわせ作業を検討中。
- ・定期発送の外注について現在見積もり調査中。

#### 広報部

- ・1 月号のニュースを県士会パンフレット形式にして発行する件について, 作成案の資料が提出された。パンフレットを配布するターゲットは一般向けとし, 具体的に作業療法場面などの写真を載せたほうがよいのではないかという意見が出された。
  - ・HP 契約について今年度は前年度と同額で契約済み。研修会情報の部分をブログ形式の別サイト試運用を行っていた件で, 本格運用していくことで承認された。
- HP への理事会・常任理事会の議事録掲載および賛助会員・広告先への議事録送付はいらぬのではないかと意見が出され今後の審議事項とすることとなった。

#### 事業局

##### 事業部

- ・10/16 - 17 にイオン利府ショッピングセンターにて開催された OT 写真展の報告が「事業部だより」として, 実際の様子を納めた写真入りの A4 版一枚とアンケート結果などが報告された。
- ・仙台市テクノエイド人材養成委託事業  
10/25 に第 1 回の会議が開催されることが報告された。
- ・宮城県通所サービス事業所への PT・OT モデル事業

9 月末に研修会が開催された。実際に OT が事業所に入ったことでどうだったかという事業主からの声がフィードバックされると良いのではと意見が出され、これについては委託発注元の宮城県リハビリ支援センター作成の報告書に盛り込まれる予定であることが報告された。

福利部

11/13(土)ボート大会を企画している現在参加申込者 0 名であり、最終締め切りを待って、開催自体を検討していくこととなった。

学術局

学術部

学術誌は原著論文待ちその後査読に入り、順当にいった約 1 ヶ月後の完成になるのではないかと報告された。

教育部

11/7(日)現職者選択研修「身体障害領域」 12/11-12(土日)現職者共通研修 / 臨床教育実習に関する研修会が開催予定であることが報告された。

常設・特設委員会

< 法人化組織検討委員会 >

当県士会総会議事運営規定について協会の規定を参考にし、作成したものが提示された。他県の規約なども参考にしながら、再度委員会で検討し、次回理事会で承認することとなった。

< 第 22 回東北作業療法学会実行委員会 >

秋田東北学会開催時の評議委員会の報告が上遠野会長よりなされた。5/31 の会員数で負担金を支払うこと、抄録集は開催の 2 ヶ月前には送る旨の連絡が来ることが報告された。

< その他 >

協会保険部から、『リハビリ総合実施計画書不備による 6000 万円の返還』について非常に問い合わせが多くなっている現状があるとの報告がなされた。この件に限らず今後保険点数の問い合わせに対して対応する保険部が当士会に存在しないため、今後どのように県士会として対応していくか検討の必要があるのではないかと話がされた。例えば、管理者研修などを開催するなども意見も出され、今後の検討課題であることが確認された。

次回 (常任理事会 現在補正予算の件もあるため 11 月中に臨時開催)

理事会 12/15(水) 19:00 ~ 県士会事務所にて

議事録署名人 平成 年 月 日 \_\_\_\_\_ 印

\_\_\_\_\_ 印